

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産（商品）	
信託期間	2025年1月24日まで（2015年1月30日設定）	
運用方針	コモディティインデックスマザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界の商品（コモディティ）市況全体の値動きを対象とする有価証券等に実質的な投資を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベビーファンド	コモディティインデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	商品（コモディティ）を実質的な投資対象資産とする上場投資信託証券を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。） </div>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

運用報告書（全体版）

ワールド・コモディティ・オープン（ラップ向け）



第3期（決算日：2018年1月26日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「ワールド・コモディティ・オープン（ラップ向け）」は、去る1月26日に第3期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル **0120-151034**
（受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			投資 組入	信託 比率	純資 産額
		税 分	込 配	み 金			
(設定日)	円		円		%	%	百万円
2015年1月30日	10,000		—		—	—	100
1期(2016年1月26日)	7,308		0		△26.9	98.5	347
2期(2017年1月26日)	8,850		0		21.1	98.7	239
3期(2018年1月26日)	9,195		0		3.9	99.7	118

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドは、世界の商品（コモディティ）市況全体の値動きを概ねとらえることをめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準	価 額		投 資 信 託 証 組 入 比 率
				騰 落	率	
	(期 首)		円		%	%
	2017年	1月26日	8,850		—	98.7
	1月末		8,756		△1.1	98.9
	2月末		8,629		△2.5	98.8
	3月末		8,482		△4.2	98.8
	4月末		8,231		△7.0	98.8
	5月末		8,108		△8.4	86.2
	6月末		8,027		△9.3	98.4
	7月末		8,187		△7.5	98.5
	8月末		8,399		△5.1	99.0
	9月末		8,830		△0.2	97.0
	10月末		9,053		2.3	99.0
	11月末		8,985		1.5	100.6
	12月末		9,144		3.3	99.0
	(期 末)					
	2018年	1月26日	9,195		3.9	99.7

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

運用経過

当期中の基準価額等の推移について

（第3期：2017/1/27～2018/1/26）

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ3.9%の上昇となりました。



第3期首：8,850円
 第3期末：9,195円
 (既払分配金 0円)
 騰落率：3.9%

基準価額の主な変動要因

上昇要因

商品（コモディティ）市況が上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

投資環境について

（第3期：2017/1/27～2018/1/26）

◎商品市況

- ・石油輸出国機構（OPEC）加盟国と非OPEC主要産油国の協調減産などを受けて、WTI原油先物市況などが上昇しました。また、欧米経済指標の改善や中国の公共投資拡大観測を背景に工業用金属需要が増大するとの期待が高まったことなどを好感して銅などが上昇し、北朝鮮情勢に対する懸念を背景に金が上昇しました。一方、トウモロコシや大豆、砂糖やコーヒーは、主要産地での豊作観測などを受けて下落しました。

◎為替市況

- ・為替市況は、期首に比べて3.0%の円高・米ドル安、11.8%の円安・ユーロ高となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

<ワールド・コモディティ・オープン（ラップ向け）>

- ・当ファンドは、コモディティマザーファンドを期首より高位に組み入れておりましたが、2017年10月26日の約款変更に伴い、従前組み入れていたコモディティマザーファンドを売却し、新たにコモディティインデックスマザーファンドを高位に組み入れて期末まで維持しました。その結果、期末時点ではコモディティインデックスマザーファンドのみを組み入れており、組入比率は99.9%としています。

<コモディティマザーファンド>

- ・期首より、世界の商品市況全体の値動きを対象とする上場投資信託証券（ETF）であるS&P GSCI商品指数[®]エネルギー&メタル・キャップド・コンポーネント35/20・THEAM・イージーUCITS・ETF（クラスA米ドル建受益証券）を組み入れ、組入期間中は概ね高位の組入比率を維持しました。
- ・組入期間中は、保有する米ドル建ての上場投資信託証券（ETF）が上昇したことなどをを受けて基準価額は上昇しました。

<コモディティインデックスマザーファンド>

- ・ユーロ建てのETFであるiShares Diversified Commodity Swap UCITS ETF (DE) を主要投資対象とし、ベンチマーク（ブルームバーグ商品指数トータルリターン（円換算ベース））に連動する投資成果をめざして運用を行いました。なお、組入比率は概ね高位を維持しました。
- ・組入期間中は、商品市況が上昇したことなどをを受けて基準価額は上昇しました。

[ベンチマークとの比較]

※下記は2017年1月27日から2018年1月26日までの比較で、当マザーファンドの組入期間とは異なります。

基準価額は1.2%の下落となり、ベンチマークは0.3%の上昇となったため、カイ離は△1.5%程度となりました。

	組入比率要因	その他の要因	合計
ベンチマークとのカイ離	△0.0%程度	△1.5%程度	△1.5%程度

(注) 四捨五入などにより各要因を合算した値と合計が一致しないことがあります。

◎組入比率要因

組入比率による影響は△0.0%程度でした。

- ・期中、ETFの組入比率は高位を維持しました。
- ・効率的に運用を行うため、円貨、外貨現金などを保有しました。

◎その他の要因

ベンチマークと保有するETFで適用される通貨が異なることや売買コスト等のその他の要因による影響は△1.5%程度でした。

(ご参考)

ブルームバーグ商品指数のセクター別構成割合と構成銘柄のウエイト (2017年12月28日時点)

エネルギー	30.35%	農業	27.13%
ブレント原油	8.46%	シカゴ小麦	3.13%
ULSディーゼル	4.23%	トウモロコシ	6.80%
天然ガス	6.52%	カンザスシティ小麦	1.09%
RBOBガソリン	3.83%	大豆ミール	2.75%
WTI原油	7.31%	大豆油	2.45%
工業用金属	20.94%	大豆	5.24%
アルミニウム	5.70%	コーヒー	1.94%
COMEX銅	9.20%	綿花	1.44%
ニッケル	2.86%	砂糖	2.29%
亜鉛	3.18%	家畜	6.14%
貴金属	15.45%	豚赤身肉	2.19%
金	11.52%	生牛	3.95%
銀	3.93%	合計	100%

【出所】Bloomberg

- ・ブルームバーグ商品指数 (Bloomberg Commodity IndexSM) とは、ブルームバーグ社が公表する、世界の商品 (コモディティ) 市況の総合的な動きを表すインデックスです。
- ・ブレント原油とは、英領北海で生産される原油のことです。性状は軽質低硫黄です。ブレント原油のスポット価格は欧州の原油価格の指標になっています。
- ・ULSディーゼルとは、Ultra Low Sulfur Dieselの略で、硫黄の含有量が極めて少ない軽油のことです。
- ・RBOBガソリンとは、Reformulated gasoline Blendstock for Oxygenate Blendingの略で、エタノールが添加されたガソリンのことです。
- ・WTI原油とは、West Texas Intermediateの略で、米国テキサス州産の低硫黄、軽質原油を意味します。ニューヨーク・マーカンタイル取引所 (NYMEX) で、原油先物取引の対象として上場されており、その取引価格は原油価格の国際的指標になっています。
- ・COMEX銅とは、ニューヨーク商品取引所に上場している銅のことです。
- ・四捨五入の関係で数値を合計しても100%にならない場合があります。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは、世界の商品（コモディティ）市況全体の値動きを概ねとらえることをめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】 (単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第3期
	2017年1月27日～2018年1月26日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	917

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<ワールド・コモディティ・オープン（ラップ向け）>

- ・コモディティインデックスマザーファンド受益証券を高位に組み入れることにより、世界の商品市況全体の値動きを概ねとらえる投資成果をめざして運用する方針です。

<コモディティインデックスマザーファンド>

- ・ユーロ建てのETFであるiShares Diversified Commodity Swap UCITS ETF (DE) の組入比率を高位に維持する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2017年1月27日～2018年1月26日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	29 (22) (4) (3)	0.340 (0.258) (0.052) (0.031)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数) ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価 ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	7 (7)	0.077 (0.077)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用)	8 (8) (0)	0.092 (0.089) (0.003)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	44	0.509	
期中の平均基準価額は、8,569円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年1月27日～2018年1月26日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
コモディティマザーファンド	22,655 千口	19,251 千円	290,065 千口	249,834 千円
コモディティインデックスマザーファンド	151,747	117,547	1,429	1,121

○利害関係人との取引状況等

(2017年1月27日～2018年1月26日)

利害関係人との取引状況

<ワールド・コモディティ・オープン（ラップ向け）>

該当事項はございません。

<コモディティマザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 187	百万円 89	% 47.6	百万円 502	百万円 309	% 61.6

平均保有割合 53.2%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

<コモディティインデックスマザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 690	百万円 251	% 36.4	百万円 478	百万円 239	% 50.0

平均保有割合 4.1%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2017年1月27日～2018年1月26日)

期首残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
百万円 100	百万円 —	百万円 —	百万円 100	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2018年1月26日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
コモディティマザーファンド	267,410	—	—
コモディティインデックスマザーファンド	—	150,317	118,600

マザーファンドの組入資産の明細につきましては、マザーファンド頁をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2018年1月26日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コモディティインデックスマザーファンド	118,600	99.8
コール・ローン等、その他	268	0.2
投資信託財産総額	118,868	100.0

(注) コモディティインデックスマザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産 (2,988,192千円) の投資信託財産総額 (3,015,068千円) に対する比率は99.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売相場場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 ユーロ=136.17円			
---------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2018年1月26日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	118,868,291
コール・ローン等	257,992
コモディティインデックスマザーファンド(評価額)	118,600,339
未収入金	9,960
(B) 負債	202,998
未払信託報酬	201,184
その他未払費用	1,814
(C) 純資産総額(A－B)	118,665,293
元本	129,051,967
次期繰越損益金	△ 10,386,674
(D) 受益権総口数	129,051,967口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,195円

<注記事項>

- ①期首元本額 270,332,581円
 期中追加設定元本額 41,362,985円
 期中一部解約元本額 182,643,599円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.9195円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は10,386,674円です。

③分配金の計算過程

項 目	2017年1月27日～ 2018年1月26日
費用控除後の配当等収益額	－円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	5,268,545円
収益調整金額	1,269,606円
分配準備積立金額	5,296,760円
当ファンドの分配対象収益額	11,834,911円
1万口当たり収益分配対象額	917円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

○損益の状況（2017年1月27日～2018年1月26日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 110
受取利息	2
支払利息	△ 112
(B) 有価証券売買損益	5,798,042
売買益	14,615,655
売買損	△ 8,817,613
(C) 信託報酬等	△ 529,210
(D) 当期損益金(A+B+C)	5,268,722
(E) 前期繰越損益金	5,295,818
(F) 追加信託差損益金	△20,951,214
(配当等相当額)	(1,269,623)
(売買損益相当額)	(△22,220,837)
(G) 計(D+E+F)	△10,386,674
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△10,386,674
追加信託差損益金	△20,951,214
(配当等相当額)	(1,269,606)
(売買損益相当額)	(△22,220,820)
分配準備積立金	10,565,305
繰越損益金	△ 765

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お知らせ】

- ①よりわかりやすい記載を目的として目論見書の特色の配分方針に「分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)」を掲載しました。
- ②投資対象とする投資信託証券の入替えのため、コモディティインデックスマザーファンドの追加および申込不可日を変更し、信託約款に所要の変更を行いました。
(2017年10月26日)
- ③当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。
(変更前(旧) <http://www.am.mufg.jp/> → 変更後(新) <https://www.am.mufg.jp/>)
(2018年1月1日)
- ④投資対象とする投資信託証券の入替えのため、コモディティマザーファンドの削除および申込不可日を変更し、信託約款に所要の変更を行いました。
(2018年1月9日)
- ⑤2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5% (法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。)) の税率が適用されます。

コモディティマザーファンド

《繰上償還(第3期)》信託終了日2017年12月25日

[計算期間：2017年1月27日～2017年12月25日]

「コモディティマザーファンド」は、この度、約款の規定に基づき、12月25日に繰り上げて償還させていただきました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第3期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	主として世界の商品（コモディティ）市況全体の値動きを対象とするS&P GSCI商品指数 [®] エネルギー&メタル・キャップド・コンポーネント35/20・THEAM・イージーUCITS・ETF（クラスA米ドル建受益証券）に投資を行います。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主 要 運 用 対 象	世界の商品（コモディティ）市況全体の値動きを対象とする有価証券等を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		投 資 信 託 純 資 産 額	投 資 信 託 純 資 産 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
(設定日)	円 銭		%		%	百万円
2015年1月30日	10,000		—		—	99
1期(2016年1月26日)	7,342		△26.6		98.8	621
2期(2017年1月26日)	8,924		21.5		98.9	302
(償還時)	(償還価額)					
3期(2017年12月25日)	9,055.53		1.5		—	10

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドは、世界の商品（コモディティ）市況全体の値動きを概ねとらえることをめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 組 入 比	託 券 率
				騰	落		
	(期 首)		円 銭		%		%
	2017年	1月26日	8,924		—		98.9
	1月末		8,830		△1.1		99.1
	2月末		8,704		△2.5		99.1
	3月末		8,557		△4.1		99.0
	4月末		8,306		△6.9		99.1
	5月末		8,185		△8.3		86.5
	6月末		8,106		△9.2		98.6
	7月末		8,270		△7.3		98.8
	8月末		8,487		△4.9		99.3
	9月末		8,927		0.0		97.2
	10月末		9,060		1.5		83.3
	11月末		9,095		1.9		—
	(償還時)		(償還価額)				
	2017年	12月25日	9,055.53		1.5		—

(注) 騰落率は期首比。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

償還価額は期首に比べ1.5%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●投資環境について

◎商品市況

- ・当ファンドの実質的な主要投資対象で、世界の商品市況全体の値動きを対象とする上場投資信託証券（ETF）の市場価格（終値、米ドルベース）は、期首に比べて上昇しました。
- ・石油輸出国機構（OPEC）加盟国と非OPEC主要産油国の協調減産などを受けて、WTI原油先物市況などが上昇しました。また、欧米経済指標の改善や中国の公共投資拡大観測を背景に工業用金属需要が増大するとの期待が高まったことなどを好感して、銅などが上昇しました。
- ・為替市況は、期首に比べて0.1%の円安・米ドル高となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・期を通じて世界の商品市況全体の値動きを対象とするETFを概ね高位に組み入れました。

- ・保有するETF（米ドルベース）が上昇したことなどをを受けて、償還価額は上昇しました。

- 償還価額

償還価額は9,055円53銭となりました。

○1万口当たりの費用明細

(2017年1月27日～2017年12月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	円 15 (15)	% 0.171 (0.171)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	10 (10)	0.121 (0.121)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	25	0.292	
期中の平均基準価額は、8,593円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年1月27日～2017年12月25日)

投資信託証券

銘 柄	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国 アメリカ	千口	千アメリカドル	千口	千アメリカドル
S & P G S C I 商品指数®エネルギー&メタル・ キャップド・コンポーネント35/20・THEAM・ イージューC I T S・E T F (クラスA米ドル建受益証券)	59	1,689	146	4,421

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2017年1月27日～2017年12月25日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$ %
為替直物取引	187	89	47.6	502	309	61.6

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行です。

○組入資産の明細

(2017年12月25日現在)

信託終了日現在、有価証券等の組入れはございません。

外国投資信託証券

銘	柄	期首(前期末)	
		口	数
(アメリカ) S & P G S C I 商品指数 [®] エネルギー&メタル・キャップド・コンポーネント35/20・ THEAM・イージーUCITS・ETF (クラスA米ドル建受益証券)			千口 86
合 計		口 銘	数 柄 86 1

【ETF（上場投資信託）の概要】

ETFの直近の入手しうるアニュアルレポート等から抜粋して作成しています。

ファンド名	S&P GSCI商品指数 [®] エネルギー&メタル・キャップド・コンポーネント35/20・THEAM・イージーUCITS・ETF（クラスA米ドル建受益証券）
内容	「S&P GSCI商品指数 [®] エネルギー&メタル・キャップド・コンポーネント35/20 トータル・リターン指数」をベンチマークとし、それと同等のリターンを達成することを目的とするETFです。
ベンチマーク	S&P GSCI商品指数 [®] エネルギー&メタル・キャップド・コンポーネント35/20 トータル・リターン指数
決算月	12月

ETFの対象指数について

- S&P GSCI商品指数[®]エネルギー&メタル・キャップド・コンポーネント35/20 トータル・リターン指数

S&P GSCI商品指数[®]エネルギー&メタル・キャップド・コンポーネント35/20 トータル・リターン指数は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが公表する、世界の商品（コモディティ）市況の総合的な動きを表すインデックスです。S&P GSCI商品指数[®]の構成要素のウェイトとの継続性及びその比率を維持しつつ、四半期ごとにウェイトの最も高い構成要素の上限を35%に制限し、残りの構成要素の上限を20%に制限します。ウェイトの上限を超えた部分は、残りの構成要素に比例配分します。

信託終了日現在、ETFを保有していないため、掲載しておりません。

○投資信託財産の構成

（2017年12月25日現在）

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 10,623	% 100.0
投資信託財産総額	10,623	100.0

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2017年12月25日現在)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	10,623,399
コール・ローン等	10,623,399
(B) 負債	16
未払利息	16
(C) 純資産総額(A-B)	10,623,383
元本	11,731,371
償還差損金	△ 1,107,988
(D) 受益権総口数	11,731,371口
1万口当たり償還価額(C/D)	9,055円53銭

<注記事項>

- ①期首元本額 338,417,729円
 期中追加設定元本額 246,167,273円
 期中一部解約元本額 572,853,631円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.905553円です。

- ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ アドバンスト・バランス(安定型)	3,474,018円
三菱UFJ アドバンスト・バランス(安定成長型)	8,257,353円
合計	11,731,371円

- ③純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,107,988円です。

○損益の状況 (2017年1月27日～2017年12月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 2,458
受取利息	459
支払利息	△ 2,917
(B) 有価証券売買損益	15,017,691
売買益	27,270,325
売買損	△12,252,634
(C) 保管費用等	△ 337,506
(D) 当期損益金(A+B+C)	14,677,727
(E) 前期繰越損益金	△36,401,678
(F) 追加信託差損益金	△45,376,088
(G) 解約差損益金	65,992,051
償還差損金(D+E+F+G)	△ 1,107,988

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

[お知らせ]

当ファンドの全口数を保有するベビーファンドからの全口数解約請求により、約款第40条第1項に規定する「やむを得ない事情が発生」した場合に該当するため、繰上償還しました。

(2017年12月25日)

コモディティインデックスマザーファンド

《第3期》決算日2018年1月26日

[計算期間：2017年1月27日～2018年1月26日]

「コモディティインデックスマザーファンド」は、1月26日に第3期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第3期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	ブルームバーグ商品指数トータルリターン（円換算ベース）に概ね連動する投資成果をめざすため、主としてiShares Diversified Commodity Swap UCITS ETF (DE) に投資を行います。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	商品（コモディティ）を実質的な投資対象資産とする上場投資信託証券を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		ブルームバーグ商品指数トータルリターン (円換算ベース)		投資信託証券組入比率	純資産総額
	期騰落	中率	期騰落	中率		
(設定日)	円	%		%	%	百万円
2015年6月18日	10,000	—	24,920.90	—	—	9
1期(2016年1月26日)	7,144	△28.6	17,738.73	△28.8	99.8	439
2期(2017年1月26日)	7,986	11.8	20,223.83	14.0	98.9	2,847
3期(2018年1月26日)	7,890	△1.2	20,291.01	0.3	99.8	2,995

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) ブルームバーグ商品指数トータルリターンとは、ブルームバーグ社が公表する、世界の商品（コモディティ）市況の総合的な動きを表すインデックスで、先物取引の委託証拠金等から得られる利子収入を加味したものです。「ブルームバーグ商品指数 (Bloomberg Commodity IndexSM)」および「ブルームバーグ (Bloomberg®)」は、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー (Bloomberg Finance L.P.) およびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）のサービスマークであり、委託会社による一定の目的での利用のためにライセンスされています。ブルームバーグ商品指数 (Bloomberg Commodity IndexSM) は、ブルームバーグとUBSセキュリティーズ・エル・エル・シー (UBS Securities LLC) の間の契約に従ってブルームバーグが算出し、配信し、販売するものです。ブルームバーグ、ならびにUBSセキュリティーズ・エル・エル・シーおよびその関係会社（以下「UBS」と総称します。）のいずれも、委託会社の関係会社ではなく、ブルームバーグおよびUBSは、eMAXISプラス コモディティインデックスを承認し、是認し、レビューまたは推奨するものではありません。ブルームバーグおよびUBSのいずれも、ブルームバーグ商品指数 (Bloomberg Commodity IndexSM) に関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性または完全性も保証するものではありません。ブルームバーグ商品指数トータルリターン（円換算ベース）は、ブルームバーグ商品指数トータルリターンをもとに、委託会社が計算したものです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		ブルームバーグ商品指数 トータルリターン (円換算ベース)	投 資 信 託 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2017年1月26日	円	%		%
	7,986	—	20,223.83	98.9
1月末	7,899	△1.1	20,035.16	99.2
2月末	7,775	△2.6	19,839.27	99.2
3月末	7,607	△4.7	19,388.43	99.1
4月末	7,526	△5.8	18,854.54	97.3
5月末	7,319	△8.4	18,721.17	99.1
6月末	7,252	△9.2	18,486.01	99.1
7月末	7,420	△7.1	18,935.29	99.1
8月末	7,303	△8.6	18,649.55	99.2
9月末	7,601	△4.8	19,413.97	99.2
10月末	7,762	△2.8	19,855.34	99.0
11月末	7,706	△3.5	19,746.99	100.7
12月末	7,844	△1.8	20,226.10	99.1
(期 末) 2018年1月26日	7,890	△1.2	20,291.01	99.8

(注) 騰落率は期首比。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

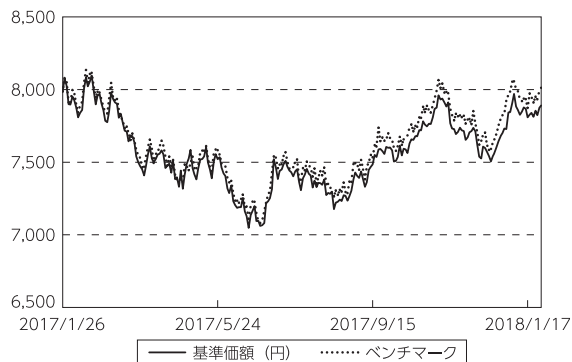
◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ1.2%の下落となりました。

◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率(0.3%)を1.5%下回りました。

基準価額等の推移



(注) ベンチマークは期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●投資環境について

◎商品市況

- ・石油輸出機構(OPEC)加盟国と非OPEC主要産油国の協調減産などを受けて、WTI原油先物市況などが上昇しました。また、欧米経済指標の改善や中国の公共投資拡大観測を背景に工業用金属需要が増大するとの期待が高まったことなどを好感して銅などが上昇し、北朝鮮情勢に対する懸念を背景に金が上昇しました。一方、トウモロコシや大豆、砂糖やコーヒーは、主要産地での豊作観測などを受けて下落しました。

◎為替市況

- ・為替市況は、期首に比べて3.0%の円高・米ドル安、11.8%の円安・ユーロ高となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・ユーロ建ての上場投資信託証券(ETF)であるiShares Diversified Commodity Swap UCITS ETF (DE)を主要投資対象とし、ベンチマーク(ブルームバーグ商品指数トータルリターン(円換算ベース))に連動する投資成果をめざして運用を行いました。なお、組入比率は概ね高位を維持しました。

- 当該投資信託のベンチマークとの差異について
ベンチマークは0.3%の上昇となったため、乖離は $\Delta 1.5\%$ 程度となりました。

	組入比率 要因	その他の 要因	合計
ベンチマーク との乖離	$\Delta 0.0\%$ 程度	$\Delta 1.5\%$ 程度	$\Delta 1.5\%$ 程度

(注) 四捨五入などにより各要因を合算した値と合計が一致しないことがあります。

◎組入比率要因

組入比率による影響は $\Delta 0.0\%$ 程度でした。

- ・期中、ETFの組入比率は高位を維持しました。
- ・効率的に運用を行うため、円貨、外貨現金などを保有しました。

◎その他の要因

ベンチマークと保有するETFで適用される通貨が異なることや売買コストなどのその他の要因による影響は $\Delta 1.5\%$ 程度でした。

◎今後の運用方針

- ・ユーロ建てのETFであるiShares Diversified Commodity Swap UCITS ETF (DE)の組入比率を高位に維持する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2017年1月27日～2018年1月26日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	円 2 (2)	% 0.027 (0.027)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	2 (2) (0)	0.029 (0.029) (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	4	0.056	
期中の平均基準価額は、7,584円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年1月27日～2018年1月26日)

投資信託証券

銘 柄	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	千口	千ユーロ	千口	千ユーロ
iShares Diversified Commodity Swap UCITS ETF (DE)	260	4,883	177	3,259

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2017年1月27日～2018年1月26日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	690	251	36.4	478	239	50.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行です。

○組入資産の明細

(2018年1月26日現在)

外国投資信託証券

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末		比 率	
	口 数	口 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(ユーロ…ドイツ) iShares Diversified Commodity Swap UCITS ETF (DE)	千口	千口	千ユーロ	千円	%	
	1,118	1,201	21,948	2,988,734	99.8	
合 計	口 数 ・ 金 額	1,118	1,201	21,948	2,988,734	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	-	< 99.8% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率および合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

【ETF（上場投資信託）の概要】

ETFの直近の入手しうるアニュアルレポート等から抜粋して作成しています。

ファンド名	iShares Diversified Commodity Swap UCITS ETF (DE)
内 容	ブルームバーグ商品指数により表される世界の商品市況の動きに連動することをめざすETFです。
ベンチマーク	ブルームバーグ商品指数
決 算 月	3月

ETFの対象指数について

●ブルームバーグ商品指数

ブルームバーグ商品指数 (Bloomberg Commodity IndexSM) とは、ブルームバーグ社が公表する、世界の商品 (コモディティ) 市況の総合的な動きを表すインデックスです。

「ブルームバーグ商品指数 (Bloomberg Commodity IndexSM)」および「ブルームバーグ (Bloomberg®)」は、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー (Bloomberg Finance L.P.) およびその関係会社 (以下「ブルームバーグ」と総称します。) のサービスマークであり、委託会社による一定の目的での利用のためにライセンスされています。ブルームバーグ商品指数 (Bloomberg Commodity IndexSM) は、ブルームバーグとUBSセキュリティーズ・エル・エル・シー (UBS Securities LLC) の間の契約に従ってブルームバーグが算出し、配信し、販売するものです。ブルームバーグ、ならびにUBSセキュリティーズ・エル・エル・シーおよびその関係会社 (以下「UBS」と総称します。) のいずれも、委託会社の関係会社ではなく、ブルームバーグおよびUBSは、eMAXISプラス コモディティインデックスを承認し、是認し、レビューしまたは推奨するものではありません。ブルームバーグおよびUBSのいずれも、ブルームバーグ商品指数 (Bloomberg Commodity IndexSM) に関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性または完全性も保証するものではありません。

運用計算書はiShares Diversified Commodity Swap UCITS ETF (DE) のAnnual Report as at 31 March 2017版から抜粋して作成しています。

【運用計算書】

iShares Diversified Commodity Swap UCITS ETF (DE)

(2016年4月1日～2017年3月31日)

ユーロ

投資収入	
外国発行体からの配当（税引控除前）	2,564,264.52
外国税額控除	−31,725.58
その他収入	481.50
収入合計	2,533,020.44
費用	
借入金利	−12,947.53
マネジメント費用	−3,646,613.54
その他費用	−108,222.05
費用合計	−3,767,783.12
投資純（損）益	−1,234,762.68
会計処理	
実現利益	591,231,869.77
実現損失	−493,148,626.76
利益/損失の処理	98,083,243.01
実現純利益（損失）	96,848,480.33
未実現評価益の純変動	16,166,705.93
未実現評価損の純変動	−16,271,967.88
未実現評価益（評価損）	−105,261.95
純利益（損失）	96,743,218.38

【組入投資有価証券上位10銘柄】

2017年3月31日現在

銘柄	組入比率
Deutsche Telekom AG Namens-Aktien o.N.	7.26%
BASF SE Namens-Aktien o.N.	6.70
Fresenius SE & Co. KGaA Inhaber-Aktien o.N.	6.59
ASML Holding N.V. Aandelen op naam EO -.09	5.11
Siemens AG Namens-Aktien o.N.	4.81
ProSiebenSat.1 Media SE Namens-Aktien o.N.	3.64
Bayer AG Namens-Aktien o.N.	3.59
ING Groep N.V. Aandelen op naam EO -.01	3.52
Relx N.V. Aandelen op naam EO 0.07	3.52
Linde AG Inhaber-Aktien o.N.	3.27

○投資信託財産の構成

(2018年1月26日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
投資証券	千円 2,988,734	% 99.1
コール・ローン等、その他	26,334	0.9
投資信託財産総額	3,015,068	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (2,988,192千円) の投資信託財産総額 (3,015,068千円) に対する比率は99.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 ユーロ=136.17円			
---------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年1月26日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,026,630,554
コール・ローン等	26,322,059
投資証券(評価額)	2,988,734,045
未収入金	11,574,450
(B) 負債	31,480,505
未払金	31,470,535
未払解約金	9,960
未払利息	10
(C) 純資産総額(A-B)	2,995,150,049
元本	3,795,947,988
次期繰越損益金	△ 800,797,939
(D) 受益権総口数	3,795,947,988口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,890円

<注記事項>

- ①期首元本額 3,565,792,875円
 期中追加設定元本額 1,035,626,159円
 期中一部解約元本額 805,471,046円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.7890円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

オルタナティブ資産セレクション(ラップ向け)	225,392,756円
ワールド・コモディティ・オープン(ラップ向け)	150,317,287円
三菱UFJ アドバンスト・バランス(安定型)	11,030,366円
三菱UFJ アドバンスト・バランス(安定成長型)	37,633,014円
eMAXISプラス コモディティインデックス	3,371,574,565円
合計	3,795,947,988円

- ③純資産総額が元本額を下回っており、その差額は800,797,939円です。

[お知らせ]

当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。
 (変更前(旧) <http://www.am.mufg.jp/> → 変更後(新) <https://www.am.mufg.jp/>)
 (2018年1月1日)

○損益の状況 (2017年1月27日～2018年1月26日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 7,098
受取利息	172
支払利息	△ 7,270
(B) 有価証券売買損益	△ 39,379,753
売買益	343,555,874
売買損	△382,935,627
(C) 保管費用等	△ 800,031
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 40,186,882
(E) 前期繰越損益金	△718,172,834
(F) 追加信託差損益金	△240,871,250
(G) 解約差損益金	198,433,027
(H) 計(D+E+F+G)	△800,797,939
次期繰越損益金(H)	△800,797,939

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。